

県大 jiman

滋賀県大イベントカレンダー

7月

19日(土)、20日(日) オープンキャンパス
30日(水)～8月5日(火) 前期定期試験

8月

6日(水) 夏季休業開始

9月

8日(月)、9日(火)、16日(火) 地域活動実践ターム
26日(金) 後期授業開始

11月

1日(土)、2日(日) 大学祭「湖風祭」
22日(土) 特別選抜試験

12月

6日(土) TOEICテスト
28日(日) 冬季休業開始

1月

4日(日) 冬季休業終了
17日(土)、18日(日) 大学入学共通テスト

2月

1日(日) 特別選抜試験
3日(火)～9日(月) 後期定期試験
13日(金)～15日(日) 地域活動実践ターム

▽県大jiman36号についてご意見をお寄せください。
(下記QRコードを読み取ると、Webからアンケートの回答ができます)



特集

- 1 県大開学30周年記念祭
- 2 湖風夏祭をいっき見!
- 3 県大jiman的! 県大歴史年表



教員・課外活動紹介

- 教** 突撃!! jimanな先生 —— 松岡 純 教授
- 課** After School Report —— バドミントン部

コラム

滋賀県立大学同窓会「湖風会」

県大 jiman

CONTENTS

- 03 県大開学30周年記念祭
- 05 湖風夏祭をいっき見！
- 07 県大 jiman 的！ 県大歴史年表
- 09 突撃!! jiman な先生 松岡 純 教授
- 11 After School Report バドミントン部
- 12 コラム 滋賀県立大学同窓会「湖風会」
- 13 事務局 開学30周年記念事業のご案内

第36号のテーマはズバリ「祝 開学30周年」です。
1995年4月に滋賀県立大学として誕生以降、
多くの学生を迎え、世に送り出してきました。
この30年間で変わったところもあれば、
開学当時のまま変わっていないところも、きっとあることでしょう。
本号では30周年にまつわるあれこれをまとめました。
県大30年の歴史に思いを巡らせてみませんか？

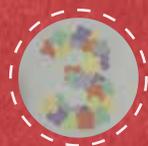
※撮影：2024年湖風夏祭にて

編集後記 テーマ：「30年後の自分に一言」



「もう歳だから」の一言は、
万能ではありませんよ…

地域文化学科 3年 知念 武哉



猫とゆっくり暮らせていれば満足♪

国際コミュニケーション学科 3年 後藤 玲奈



30年後と来年に、違いはないと思う。
でも、不老不死にはなってほしいですね。

材料化学科 2年 北野 凌



いろんなことがあるだろうけど、
今をゆっくり楽しんでね

OB 高杉 昭吾

年2回発行

夏号 7月上旬
冬号 2月下旬



Mail:kendajjiman.tw@gmail.com

X (Twitter) :@kendajjiman

学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる
学生を募集しています。
私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。
デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。
外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、
興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第36号
発行 | 滋賀県立大学広報戦略委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp
発行 | 2025年7月
www.usp.ac.jp
紙面デザイン：学生スタッフ



皺いっぱい幸せいっぱいの
日々を過ごしてね

生活デザイン学科 2年 西村 紅葉



元気に過ごしていますか？
夢は叶いましたか？

電子システム工学科 1年 谷澤 忠朗

事務局
浅井 恵
加藤 一郎

担当スタッフ：知念 武哉 02



6月7日(土)に、交流センターホールにて開学30周年記念式典が執り行われました。式典に先立ち、劇作家で芸術文化観光専門職大学の学長である平田オリザさんの講演(演題:「わかりあえないことからーコミュニケーションデザインとはなにか?ー」)が行われました。

その後、滋賀県知事・県議会議員・県内市町長、歴代学長や連携協力団体・企業、その他多くの方々にご臨席いただき、開学30周年記念式典が挙行されました。式典では学長の式辞があったほか、滋賀県知事や彦根市長など各来賓から祝辞が送られました。また、開学30周年記念ロゴマークや学内新チャイム、ポスターデザインの作成に携わった方への感謝状贈呈も併せて行われました。



式典後は交流センターホワイエで記念パーティーが行われ、参加者同士で語らう光景が見られました。また、学部別ホームカミングイベントや各種特別企画も開催され、多くの参加者で賑わいました。



湖風夏祭(うみかぜなつまつり)も同時開催され、在校生のみならず卒業生も一緒になって楽しむ様子が見られました。

毎年恒例の京都府立大学との体育会交流戦、通称「京滋戦」も実施され、熱く激しい戦いが繰り広げられました。

フィナーレでは開学30周年記念バージョンの花火が打ち上げられました。



湖風夏祭を いっき見!

STEP2

湖風夏祭の準備ってこんなの!

湖風夏祭とは毎年6月に開催される、滋賀県立大学の一大イベントである大学祭です。今回は湖風夏祭がどのようにしてできているか、湖風夏祭がどのようなものかをまとめてみました。

湖風祭実行委員会のみなさんが実際に準備している様子をまとめてみました。



企画部

メインステージのリハーサルの様子です。皆さんに楽しんでもらえるようにたくさん練習をしています。



会場部

メインステージに飾るタイムテーブルの看板を作っている様子です。デザインから考えて描いていきます。

広報部



室内用のタイムテーブルを設置している様子です。カラフルで準備期間の校内はかわくなります!



販統部

ゴミの分別を呼びかけるキャラクターのゴミらを運んでいる様子です。かわいいゴミ箱ですね!

フリーマーケット

多くの地域の方々が洋服やハンドメイド雑貨などを出品しています。素敵なお室に出会えるかも…!?



室内イベント



写真部や美術部の作品の展示やマジックなどのイベントが開催されています。外だけでなく室内でも楽しめます!

模擬店

部活・サークル、学部ごとに模擬店を出店しています。学外からの出店もあり、様々な食べ物を楽しむことができます。

STREET EVENT



コメディ研究会やbig×band部のみなさんの発表が見られます。

STEP1

湖風夏祭が成り立っているワケ

湖風祭実行委員会は約200人が所属していて、各部署に分かれて準備をしています。それぞれの部署の役割を見ていきましょう。

渉外部

SNS・HPの運営や他大学への出店、メディアへの出演依頼をします。

販統部

模擬店やフリーマーケット(マルシェ)の統括をしています。

会場部

湖風祭で使うステージを建てたり、看板のデザインを考えたりします。

広報部

パンフレットの作成や湖風祭当日の写真や動画を撮影します。

企画部

湖風祭当日のステージ企画や小さな子供向けのミニゲームなどを考えています。

総務部

テントを建てたり、当日の駐車場の警備をしたりしています。



STEP3

当日のイベントをいっき見!

当日は模擬店やフリーマーケット、ステージイベントなどたくさんのエンジョイスポットがあります。それぞれを詳しく見ていきましょう。

STAGE EVENT

音楽系団体やダンス部のみなさんが発表をしたり、企画部によるイベントもあります。



江州音頭



広場で地域の方々と湖風祭実行委員会のみなさんが滋賀県を代表する江州音頭で盆踊りをします。

子ども向けイベント



動物のふれあいコーナーや遊びなど、小さな子どもも楽しめるイベント企画をしています。

* FIREWORKS *

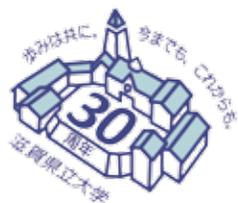
湖風夏祭の大目玉!フィナーレを飾る花火です。今年は「開学30周年記念バージョン」の花火が打ち上げられ、例年に比べて豪華でした。



次は秋の湖風祭は11月1日(土)と2日(日)に開催されます。皆さんぜひお越しください!

県大 jiman 的！ 県大歴史年表

県大の30年を県大 jiman オリジナルの年表にまとめました。
県大の歴史を年表とともに振り返りましょう。



1995年

滋賀県立大学開学

開学から変わらず、大学のキャッチコピーは「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」
左は第一期生の入学式、右は当時のキャンパスガイドの写真です。
第1回の入学式は県大の体育館で行われました。



2003年

人間看護学部開設

看護学部棟が供用され始めたのは翌年の2004年です。
ナシェリアもオープンしました。



2004年

「近江楽座」がスタート

2012年には当時の皇太子さまが来学され、近江楽座を視察されました。
県大 jiman 第34号で取り上げています。
ぜひ読んでみてください！

2000s

2012年

人間文化学部 国際コミュニケーション学科 開設

2013年

湖風会館（A7棟）開館

湖風会館は湖風会事務局の他に、授業や自習室として使われています。



2018年

県大の公式 Instagram 開設

県大の魅力や、大学の風景、学生の活躍について発信しています。
フォローはこちらからどうぞ！



2025年

開学30周年

30周年を記念し、記念式典や京滋戦、湖風夏祭、ホームカミングデーが同日に開催されました。



2020s

1
9
9
5

1
9
9
6

2
0
0
3

2
0
0
4

2
0
0
5

2
0
0
6

2
0
0
7

2
0
0
8

2
0
1
2

2
0
1
3

2
0
1
5

2
0
1
8

2
0
2
2

2
0
2
4

2
0
2
5

1990s

1995年

第1回湖風祭開催

湖風祭は開学当初から行われています。

2005年

開学10周年

開学10周年を記念して記念誌が発行されました。

2006年

滋賀県立大学同窓会 「湖風会」設立

1996年

交流センター開館



開学前の滋賀県立大学

建設中のえんぴつ棟、体育館周り、図書館



2007年

「県大 jiman」の発行がスタート

バックナンバーは図書館で読むことができます！



2008年

工学部 電子システム工学科開設

2010s

2008年

校歌「鮎撥ねる」を発表

「鮎撥ねる」は2025年4月より授業のチャイムに使われています。

2022年

県大が映画「隣人 X- 疑惑の彼女 -」 の撮影地に

図書館には主演の上野樹里さん、林遣都さんの直筆サインが飾ってあります。

2024年

ナシェリアがリニューアルオープン

モーニング、ランチだけでなく、パフェなどデザートも楽しめるようになりました。



突撃!!



じまんな先生



材料化学科

松岡純 教授

今号の突撃 jiman な先生では、開学から30年間県大で活動を続けている、材料化学科所属の松岡先生にお話を伺いました。県大生を見つけてきた先生ならではの視点は、必見です。

研究内容について

松岡 私の研究室はセラミックス材料分野で、ガラスについて研究をしています。ガラスとは色んな石を溶かして混ぜてそのまま固めたものです。普通は冷やしていくと結晶になるけど、ドロドロなので結晶になる時間がなくて液体と似た原子のつながり方のまま、カチカチになったのがガラスです。

溶かしたものをそのまま固めると、何をどのくらい入れるのかによって性質が違うものができます。窓ガラスのガラスとピーカー、試験管のガラスは見た目は同じなんですけど、実は中に入ってる元素

が違って、その分性質も違うものになります。

スタッフ ピーカーは熱に強くないとダメ、みたいな使い分けがあるんですね。

松岡 そうそう。だから食器でも耐熱ガラスとかはピーカーと似ているんです。目に見える所にあるガラスの種類はさっき言ったぐらいなんです。けど実は、皆さんもスマートフォンの中に30種類程のガラスを持っています。ガラスはドロドロのまま冷やしたら固まるので、電子部品のノリに使われているんです。電子回路の写真にたくさん付いている、両端が銀色の小さな部品が、セラミックス製の電子部品です。この部品1個の中に

4種類くらいのガラスが使われています。



▲ガラスはパソコンの中にも!

そういう所にも使われる色々なガラスの研究をやっています。

スタッフ ガラスの研究というのは具体的にどんなことを?

松岡 色んなガラスに共通する性質の、ガラスの弱点、なぜガラスは割れやすいのか?とか。溶けたガラスの性質、例えば窓ガラスを作るときに溶かすと1500°Cで、それ自身が熱いから赤く光ってるんだけど、その状態でガラスが赤外

線をどれくらい通すか?とか。

工学部にいるんだけど、新しいものは作ってないです。自分はそのより、コツコツ調べる方が向いているなと感じたので。ただ、どんな用途のガラスでも実用化の際には求められる性質を調べているので、開学から30年の間に技術相談に来た会社の数を数えたら103社もありました。

スタッフ ガラス研究の魅力とはズバリ、なんですか?

松岡 ガラスって理論があるようなでないような、曖昧な物質なんです。だから実験をして、その結果を元にして自分で何が起きているかを考えていく、っていうことのできる、「理論のない世界」だからこその面白さが魅力です。

スタッフ 新しい発見があふれている世界なんですか。

研究以外の楽しかった事

松岡 1日に800人集まるイベントの開催や大学院生の学会発表賞の受賞など楽しいことは幾つもありましたが、一番は卒業生とのつながりでしょうね。研究室の同窓会を2年に1回していて、毎回30人前後は集まります。教員3名と院生・卒論生の研究室で、卒業生は全部で220名くらいなので、かなりの出席率だと思います。



▲同窓会には卒業生のお子さんも!

スタッフ 同窓会以外でも卒業生と会いますか?

松岡 会社で基礎研究をしている人とは、学会で会うことがあります。また、技術開発のヒントを求

めて会社から相談に来る人も毎年います。春の連休、オープンキャンパス、湖風祭などに遊びに来る人もいます。県大が好きだから戻ってくるのでしょうね。

県大の魅力とは

松岡 まず体験から言えば、自由さですね。1期生の子が「ここでアヒル飼っていいですか」って言って飼いだしたんです。そんな自由な学生がきっかけで鴨部(※現在は廃部)ができました。



▲鴨部での体重測定の様子

スタッフ 体験以外だと?

松岡 ちょうどいい大きさかな。1学年が600人くらいで、その中に、文理合わせて学科が13もある。1つのキャンパスに集約されてるから、「こんなことやってるんだ」って見えてきて、かつ多様性もある規模感は、良いと思います。

スタッフ 大きいところは学部ごとでキャンパスが違ったりしますもんね。

松岡 立地も良くて、滋賀・京都・大阪・岐阜・愛知いろんな場所から来てる人がいるから、多様。新しい発想に繋がりがやすい色々な考え方に触れられるのは刺激があって楽しいです。

開学当初を振り返って

松岡 最初は、新しい大学で、学生も教員も何をやらなきゃいけないだろうっていうのが、わからなかった。1年目に、大学祭やった

方が良いんじゃない、って事務局の人たちが学生に言って大学祭が始まりました。当時は食堂横の中庭で高校の文化祭みたいに。翌年に向けて実行委員が別の大学の大学祭に視察に行ったので、2年目は大学祭っぽさが出てきました。

スタッフ 大学祭以外で印象的なことはありますか?

松岡 どの学部も建物が半分しかできてなかったこと(笑)。私のいまの研究室も当時は無かったので、別の先生の研究室を間借りしました。

スタッフ 当時と今の学生で違いはありますか?

松岡 良い子が多くなったね。手がかからなくなった。けど、自分の上限を決めちゃってる子が増えていて、つまらないと感じるときもあります。

スタッフ 堅実すぎる感じ?

松岡 そうだね。3回生を終える時の成績はギリギリで部活命みだった人間が、研究やりだしたら今度は研究命みに突っ走る。そういう学生が減ったかもしれません。学生のうちに突っ走る経験をしてほしいし、もっと県大生なことに自信を持ってほしいです。

県大生へのメッセージ

松岡 自信持ってください! 偏差値的に入れそうだったから来ましてたっただけの人も、それは入学の時の話。県大でちゃんと勉強したら、偏差値で上の大学の卒業生よりも、十分専門の力はつけられるし、多様性のある大学なので、考えの幅も作れます。そんな場所で学ぶんだ、っていう自信を持ってほしいです。

スタッフ 貴重なお話をいただき、ありがとうございました。

After School Report Badminton Club

バドミントン部

今回の After School Report は体育会伝統の定期交流戦である「京滋戦」に参加するバドミントン部さん取材しました。活動内容や「京滋戦」などについて、主将の猪野 北斗さんにお話を伺いました。

Q01 バドミントンの魅力はなんですか？

気軽に誰でも始められて楽しめるところが魅力です。その一方で、試合となると、個人戦では自分の精神面の戦いであったり、団体戦では仲間からの良いプレッシャーを感じて頑張れたりする楽しさにも魅力を感じられます。



Q02 部の雰囲気はどうですか？

学年や性別は関係なく仲が良いというのが特徴です。レクリエーションなどのイベントや交流の場が多いので、和気あいあいと楽しくバドミントンをしています！



Q03 練習では何をしていますか？

最初にアップとステップ、フットワークをします。その後に、ラリーやクリアなどの基礎打ちをしたり、コートの手前で対戦をしたりいくつかのメニューをします。最後は学年・男女混合でペアを組んでダブルスのゲームをやっています。



Q04 試合などのイベントについて教えてください

今年は、団体戦で行われる関西リーグというものに出場を予定しています。また、地域の大会にも出場していて、直近だと彦根市民大会というのがありました。それは有志でペアを作ってダブルスが出る試合です。他には夏に部員同士の仲を深めるための合宿があります。去年は1泊2日で金沢へ行きました。



Q05 6月の京滋戦の結果はどうでしたか？

私たちは意気込みとして先輩たちからの勝利の連鎖を繋げたいと思い、部員一同で練習してきました。結果、10戦中6対4で勝つことができました。湖風祭と同時開催ということで多くの観客の方がいる中での試合で緊張していましたが、今までの練習の成果を発揮することができて安心しています。この貴重な体験を今後の活動に活かしていきたいです。



Q06 読者の方に一言お願いします

県大のバドミントン部は楽しく部活に取り組めるいい環境が整っていると思うので、やっていなくても、やってなかった人でも、ぜひ入ってほしいです。これからも部員一同で楽しく頑張っていきますので応援よろしくお願いします！

活動日：火曜日、水曜日、金曜日、

日曜日（自主練習）

部員数：58人

代表：猪野 北斗さん

連絡先：@usp_badminton_club

(Instagram)



担当スタッフ：西村 紅葉

滋賀県立大学同窓会 湖風会

滋賀県立大学卒業生の同窓会である湖風会は、滋賀県立大学の発展に寄与し、精力的に活動されています。今号のコラムでは、湖風会について紹介します。また、6月に新会長になった環境科学部・環境科学研究科卒の小林匡哉さんにインタビューを行いました！

▶ 湖風会の活動目的

会員相互の親睦と大学への支援



▶ 湖風会の主な活動内容

- ・ホームカミングデーの主催
- ・学生への朝食支援
- ・卒業証書ケースの寄付
- ・卒業生に向けた公式 LINE での情報発信
- ・卒業時の学生表彰への寄付
- ・クラス会へ補助金の支給 など

▶ インタビュー

Q. 湖風会の活動などでやりがいを感じる瞬間はありますか？

A. 湖風会では、クラスやゼミなどの同窓会への補助を行い、その様子をホームページでお知らせしています。それに加えてここ数年、湖風祭等でのホームカミングデーや学生へのおにぎり支援など、湖風会でのイベントが増えてきました。湖風会の役員はボランティアということもあり、活動はもちろん組織を維持するのも大変なのですが、こういった活動に関わってくれた方の喜ぶ姿を見ると、やはりやりがいを感じます。

Q. 旧友と交流する時間は小林さんにとって、どのような時間ですか？

A. 僕は卒業してから20年が経っていて、旧友は進んでいる進路も違い、20年の間にそれぞれが成長しています。会って話せばいろいろな刺激を受けますし、なにより学生の時に戻る感じがしてとても楽しいです。

Q. 開学30周年を迎えて、小林さんの滋賀県立大学に対する思いを聞かせてください。

A. 大学院も含めての6年間、大変だったことや失敗もたくさん経験しましたが、とても楽しかったです。県大の特徴は地域と多く関わることだと思います。僕は吹奏楽部に所属していて、ビバシティのイベント担当の方と打ち合わせや調整をして演奏会を定期的に行っていました。学生自身が地域とつながろうとする校風はこれからも続いてほしいと思います。



湖風会の公式 LINE はコチラから↓



▲朝食支援の様子



▲湖風会主催のホームカミングデーの様子

担当スタッフ：後藤 玲奈 12

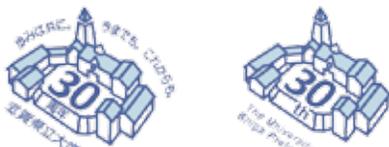
開学30周年記念事業のご案内



「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。滋賀県立大学は30周年。」
「歩みは共に。今までも、これからも。」
というキャッチフレーズのもと、年間を通じて様々な取り組みを実施しています

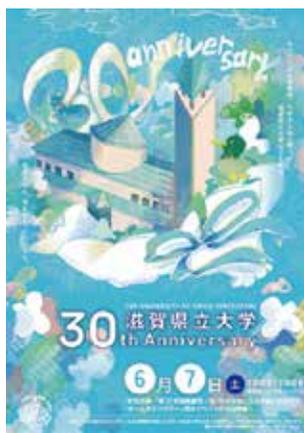
記念ロゴマーク

在学生を始め、卒業生や教職員から多くの応募をいただき決定しました。



制作者：加藤一郎さん
(本学卒業生・事務局職員)

メインデザイン



人間文化学部・生活デザイン学科の学生により、30周年記念事業のメインデザインを制作しました。



ポスターやチラシのほか、寄附の返礼品としてクラブハリエ様とコラボして作成したバウムクーヘンのパッケージデザイン等にも使用しています。

制作者：町中七葉さん
(本学学生・生活デザイン学科)

30周年記念グッズ

本学学生・卒業生がデザインした30周年記念グッズを作成、販売しています。

トートバッグ



マフラータオル

タンブラー



マグボトル

マスキングテープ

ふせん (井手学長のイラスト入り) など

「30周年記念サイト」から購入いただけます



※売上の一部は30周年記念事業に充てさせていただきます

校歌「鮎撥ねる」をチャイムに

4月から授業開始・終了時のチャイムを校歌「鮎撥(は)ねる」のメロディーを学生がアレンジしたものに変更しました。



編曲者：林真生さん、村井夏鈴さん
(本学学生・吹奏楽部)

今後のイベント (予定)

- ・県大クリーン大作戦
 - ・秋の30周年記念オープンキャンパス など
- 検討中のものもありますので、随時本学ホームページ等でご案内いたします

受賞・表彰 (学年は受賞時点)

学 生

- マテリアルライフ学会 第35回研究発表会 研究奨励賞**
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 畑翔太郎
- 第36回高分子加工技術討論会 学生優秀発表賞**
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 坂口紀彦
- 第52回環境システム研究論文発表会 優秀ポスター賞**
環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程 1年 上田杏樹
- 非破壊検査協会2024年度秋季講演大会 新進賞**
工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程 2年 堀川俊典
- 第3回東京国際管楽器コンクール管楽器部門大学生の部 5位入賞**
環境科学部生物資源管理学科 3年 食野孝太郎
- 第34回日本クラシック音楽コンクールクラリネット部門 大学の部 地区本選会 優秀賞**
環境科学部生物資源管理学科 3年 食野孝太郎
- 第36回日本環境動物昆虫学会年次大会 優秀講演発表賞**
環境科学研究科環境動態学専攻博士前期課程 2年 畠中美伽
- 日本材料学会第116回高分子材料セミナー 学生優秀発表賞**
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1年 田中秀治
- 第17回 有機π電子系シンポジウム ポスター賞 (BCSJ Award)**
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 森下晴斗
- 一般社団法人照明学会関西支部 「2024年 学生照明デザイン競技」 入選**
人間文化学部生活デザイン学科 3年 重水愛唯
- プラスチック成形加工学会関西支部2024年度若手セミナー 優秀ポスター発表賞**
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1年 上西尚輝
- 第13回ブランドデザインコンテスト「BranCo!」 準グランプリ**
人間文化学部生活デザイン学科学生チーム「ずんだもち」
4年 清水唯葉
3年 今枝みづほ 友清唯葉 森 優都

教 員

- 第73回日本農村医学会 学術総会 研究奨励賞 (英文誌、コ・メディカル部門)**
人間看護学部人間看護学科 講師 関 恵子
- 日本環境動物昆虫学会学会賞**
環境科学部生物資源管理学科 教授 高倉耕一
- 日本環境動物昆虫学会奨励賞**
環境科学部 客員研究員 古川真莉子
- 公益財団法人江野科学振興財団 田中康之ゴム科学賞**
工学部材料化学科 講師 木田拓充
- 第23回 (2024年度) 林業経済学会賞 (学術賞)**
環境科学部環境政策・計画学科 教授 高橋卓也

団 体

- 第53回滋賀県アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞**
吹奏楽部 クラリネット5重奏
2年 林 真生 浅海寿々花
1年 岡本隼澄 川邊結月 馬場優花
- 第53回滋賀県アンサンブルコンテスト 職場・一般の部 銀賞**
吹奏楽部 バリ・チューバ5重奏
3年 伊藤萌々果 田中理子
2年 浦山綾実 大島和晃
1年 川井羽津希

- 第53回滋賀県アンサンブルコンテスト 職場・一般の部 銀賞**
吹奏楽部 サクソフォン4重奏
4年 清水智輝
3年 井上琴葉 松村 尚
2年 森本彩香

人事

着任 2025年4月1日付



福永 忠克
副理事長
(兼事務局長)



北村 隆行
理事
(高専開設準備担当)



大井 鉄也
環境科学研究院
教授



藤井 誠
人間看護学研究院
教授

森下 あおい
理事
(教育・学生支援担当)

杉江 秀樹
理事
(非常勤)

大室 佑介
環境科学研究院
講師

濱上 桂菜
人間文化学研究院
講師

樋口 優子
人間看護学研究院
講師

退職 2025年3月31日付

- 宮川 正和 副理事長 (兼事務局長)
小泉 尚嗣 理事 (教育・学生支援担当)
林 一義 理事 (非常勤)
伴 修平 環境科学研究院 教授
迫田 正美 環境科学研究院 講師
山根 浩二 先端工学研究院 教授
砂山 渡 先端工学研究院 教授
宮村 弘 先端工学研究院 准教授
加藤 真一郎 先端工学研究院 准教授
杉山 裕介 先端工学研究院 准教授
丸山 真央 人間文化学研究院 教授
棚瀬 慈郎 人間文化学研究院 教授
サンフオジャンパティスト 人間文化学研究院 講師

滋賀県立大学 公式 Instagram ページ

[アカウント] @univ_shigapref
[URL] https://www.instagram.com/univ_shigapref/



学生 Instagram
スタッフ活躍中!
ぜひ、フォロー
してください!